

宇都宮市視覚障害者福祉協会
宇都宮市聴覚障害者協会
宇都宮市肢体不自由児者父母の会
宇都宮市喉友会

おめでとうございます ～令和7年度表彰者～

▼第31回栃木県民福祉のつどい

とちぎ福祉プラザ(8月21日)

▽栃木県知事表彰

自立更生 石崎 勤(視覚)

▽栃木県身体障害者

団体連絡協議会会長表彰

自立更生 梅園 裕之(肢体)

小口 守(視覚)

▼第19回宇都宮市民福祉の祭典

宇都宮市役所(11月23日)

▽宇都宮市長表彰

自立更生 中村 倫子(肢体)

増渕 陽子(肢体)

佐藤 知代(視覚)

小川マサエ(聴覚)

駒崎 茂(肢体)

▽宇障連会長表彰

自立更生 岩永 葉子(視覚)

福田 武久(聴覚)

支援功労

宇障連を支援する会

代表 横尾光夫(事務局)

倉澤 健(視覚)



宇都宮市との意見交換会

11月19日 宇都宮市役所



宇障連では毎年会員の皆様からの市に対する要望等をまとめ、要望書の提出と意見交換会を1年おきに交互に行っています。

今年度は意見交換会を開催し、宇障連からは、麦倉会長はじめ各部会の代表者が出席し、障がい福祉課の課長はじめ職員の皆様と意見交換を行いました。

内容は、合理的配慮の提供促進、歩道や点字ブロックの整備状況、手話言語条例の制定、各種支援事業の利用要件などであり、有意義な話し合いを行うことができました。

来年度は要望書の提出を予定していますので、会員の皆様もご留意くださるようお願いいたします。



ハッピーフェスティバル

11月29日 総合福祉センター

毎年恒例の「ハッピーフェスティバル」を市総合福祉センターで開催し、参加した約80人が落語とゲームを楽しみました。

このイベントは、歳末たすけあい募金の配分を受け、宇障連会員相互の親睦と交流の輪を広げるために行うもので、誰もが楽しめる文化的な催しを毎年企画しています。



今年は、「落語でみなさんに寄席の雰囲気を楽しんでもらおう」という狙いで、「宇都宮落語研究会」の御三方に、古典落語の「つる」「おすわどん」「時そば」を演じていただきました。

御三方それぞれに個性があり、話の展開や動きの軽快さに皆さん引き込まれている様子。落語の醍醐味の一つである扇子を箸に見立てて「ズズズ」と蕎麦をすする仕草には、「ほーうまいなあ」という声があちこちから。アンコールで演じていただいた「親子酒」も、酔っ払い親子のやり取りに皆さん笑っており、「心も温まり大いに元気が出ました」という声も聞かれました。

後半のお楽しみ、ビンゴ大会では、真剣にビンゴカードを見つめ、読み上げられる数字に一喜一憂。全員が賞品を受け取り笑顔で閉会となりました。

福祉機器体験会

9月6日・11月2日 ～総合福祉センター～

宇障連では、視覚障がい者向け機器として、近年人気の高い二つの福祉機器の体験会を開催しました。

9月6日には、専用アプリで目的地を設定し、靴に取り付けたデバイスにより、足元の振動で目的地へ案内する歩行ナビゲーション「あしらせ2」の歩行体験を行いました。なお、現在のところ対応できるスマートフォンはアイフォーンで、アンドロイドは今後の開発になっています。

11月2日には、デジ図書の再生・録音、インターネットに接続してのデジ図書検索・ダウンロード、カメラにより印刷物を読み上げるOCR機能等々、多機能の携帯型マルチプレーヤー「センスプレーヤー」の体験を行いました。

両日とも、販売業者を講師に招き、丁寧に説明を受けました。参加者からは質問も多く有意義な体験会となりました。

二つの機器とも、宇都宮市の「日常生活用具」の給付対象になっているので、購入ご希望の際は宇障連にご相談ください。



宇都宮市民福祉の祭典

11月23日

～総合福祉センター等～



うつのみやふれあいスポーツ大会

10月18日 ～ブレックスアリーナ宇都宮～



10月18日にブレックスアリーナ宇都宮で第23回うつのみやふれあいスポーツ大会が開催されました。

今年は会員・家族合わせて35名が参加。ボッチャ、フライングディスク、ビームライフルなどの競技を楽しみました。

初めて参加したという会員の皆さんからは「とても楽しかった」「もう少し長い時間やりたかった」「ほかの競技も興味がある」という声が聞かれました。

ラストのじゃんけん大会では、順調に勝ち進んだものの最後の最後で賞品を逃した会員さんの悔しがる様子が印象的でした。

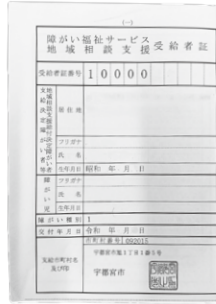
皆さん知っていますか？

① 市営雀宮駅東口駐車場の料金

この駐車場では、障がいのある方は、入庫から6時間分の金額が免除となります。申請については、午前6時から午前0時までJR雀宮駅東口駐輪場の窓口にて受け付けておりますので、精算前にご相談ください。

② 同行援護サービスの支給量

例えば、急なお葬式などで突発的・臨時的に支給量を超過するおそれがある場合には、市の方で状況に応じて適切に対応しますので、このようなケースについては、まずは市障がい福祉課にご相談ください。



ライトライン駅西側延伸の説明会

今年度、宇障連の構成団体ごとに、宇都宮市建設部LRT整備課による「ライトライン駅西側延伸の説明会」が開催され、各団体とも多くの方が参加されました。

これは、市が今後LRTを整備する上で、障がいを持つ方々に対し、事業の検討状況を説明するとともに、意見交換を行いたいという趣旨から開催されたものであり、区間ごとの整備やバスとの連携イメージ、駅前広場の整備計画等

の説明の後、活発な意見交換が行われました。駅西側の開通はまだ先になりそうですが、引き続きLRT事業に注目していきましょう。



東京2025デフリンピック開催

去る11月15日から26日まで、東京2025デフリンピックが開催されました。

今回、柔道会場とサッカー会場へ応援に行った宇障連事務局の齋藤紀子さんに、デフリンピックの感想を聞きました。

.....

東京2025デフリンピックは、聴覚障害のあるアスリートを対象とした国際スポーツ大会であり、今回は1924年の第1回大会から100周年に当たる記念大会という事だったので、どんな大会になるのだろうと、わくわくしながら開催を待ち望んでいました。

すべての競技を観戦しに行きたいと思っています

ましたが、福島県で行われたサッカー競技と、東京都で行われた柔道を見に行きました。

観覧席は、手話であふれているのではと思っていましたが、健聴者の声も多く聞かれ、スポーツは障がいの垣根を越え誰もが同じように一つになれると感じました。

今回、手話ができなくてもボランティアとして参加している方が多く、この機会に手話の世界に挑戦してくれる人が増えたことは、とても良いことだと思いました。



今後の 行事予定

2月14日(土) ボウリング大会
3月6日(金) 理事会
3月19日(木) 評議員会

本会報はボランティアの皆さんの協力で点字版、音声版も発行しています。
点訳 点訳グループ「かたつむり」の皆さん
音訳 デイジー全文訳センター

「アクセス」の皆さん
ご協力ありがとうございました。